

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

<5週> インフルエンザ - 九州地方、東海地方、関東地方で定点  
当たり報告数が多くなっている / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.4

<インフルエンザ> 2002年第5週の全国定点からの報告総数は  
61,002( 定点当たり報告数は13.0 )



病原体情報  
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザ / 感染性  
胃腸炎



速報  
P.6

秋田市内で発生したA群溶血性レンサ球菌による家族内感染事例



海外感染症情報  
P.7

イタリアで初の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病患者 / 香港で家  
禽からインフルエンザウイルスA型( H5 )の分離 / アメリカ大陸で  
のデング熱流行 / 他



感染症の話  
P.8-11

腸チフス・パラチフス  
一般のサルモネラ感染症とは区別され、  
チフス性疾患と総称される。国内では年  
間約100例程度で推移している。



読者のコーナー  
P.12



グラフ総覧( 5週 )  
P.13-19



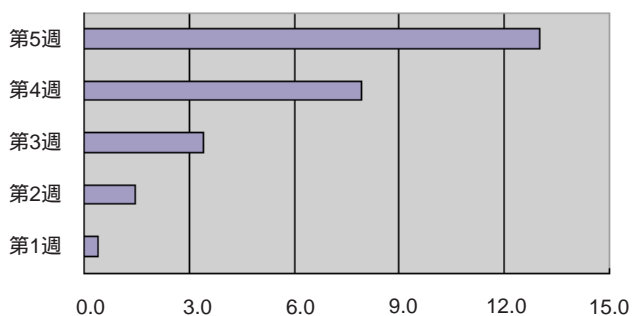
5週のデータ  
P.20-27



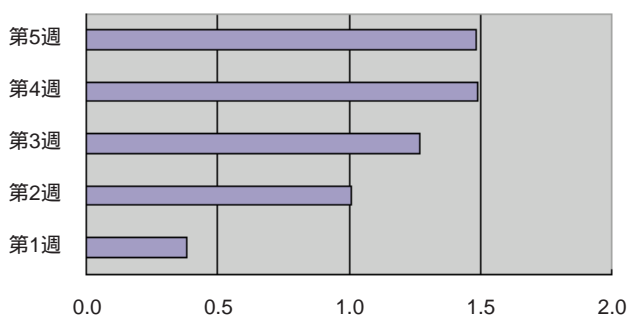
## 最近の注目疾患－5週間の動き

インフルエンザの定点当たり報告数は、本年第1週になってからも毎週増加しつつある。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は前週に比べて増加し、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎の定点当たり報告数は横ばいであり、水痘の定点当たり報告数は前週に比べて減少した。

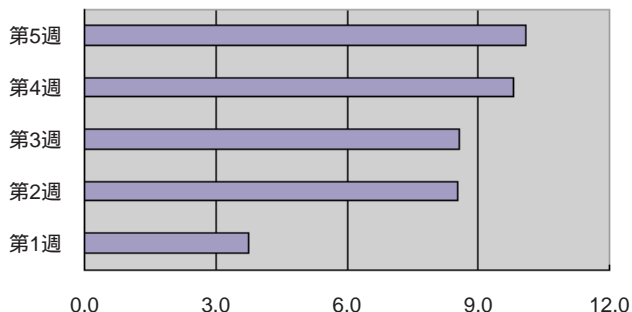
インフルエンザ



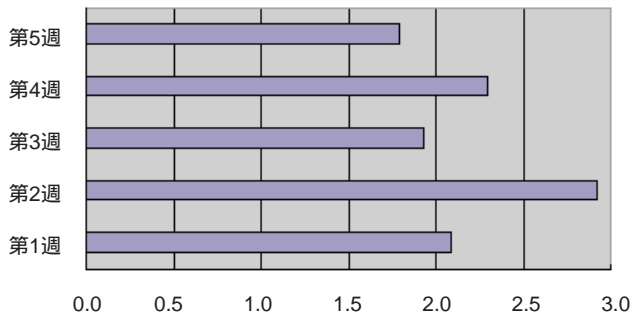
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



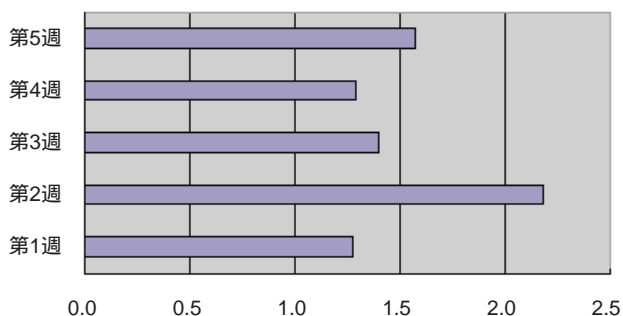
感染性胃腸炎



水痘



流行性耳下腺炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



# 注目すべき感染症

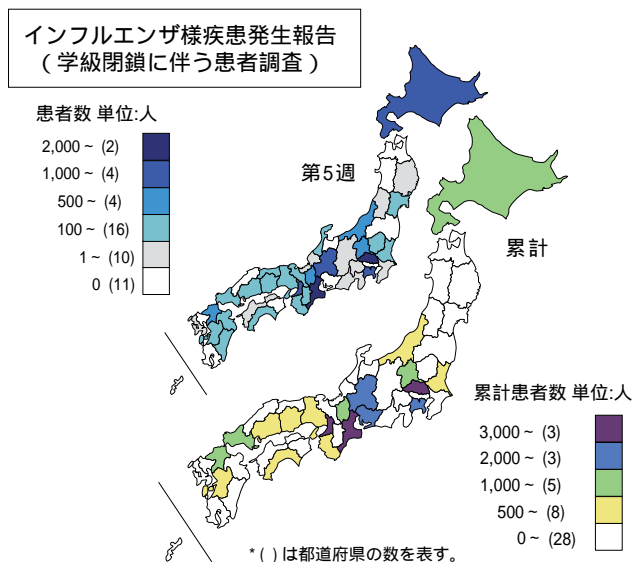
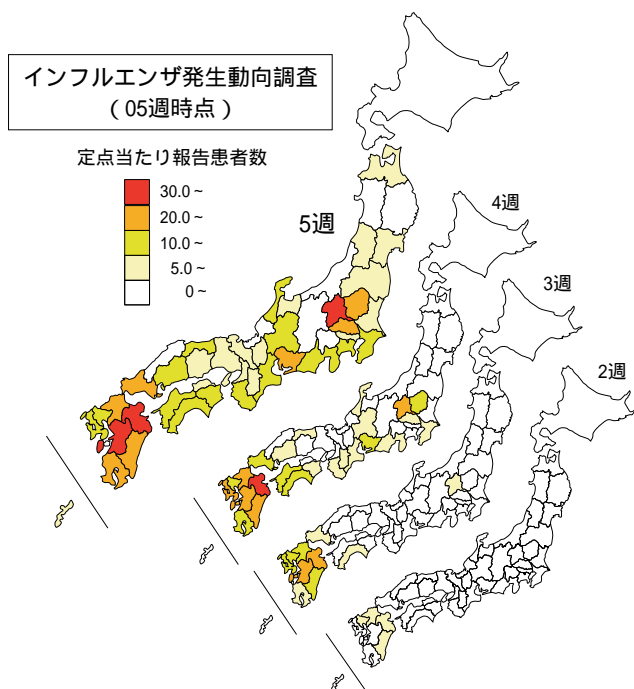
## インフルエンザ

2002年第5週の全国定点からのインフルエンザ報告総数は61,002で、定点当たり報告数は13.0であった。定点当たり報告数が多くなっているのは、大分県(34.7)、熊本県(30.4)、宮崎県(24.2)、福岡県(22.8)、鹿児島県(22.0)など九州地方、山口県(24.1)、愛知県(27.4)と、群馬県(30.3)、栃木県(25.7)、埼玉県(21.3)など関東地方である。今週報告された患者を年齢階級別にみると、最も多いのは4歳と5歳で、5歳以下の子どもが全体の約4割、20歳以上の成人の報告は全体の約2割を占めている。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによれば、北海道、東北地方の都道府県内にも注意報が発生し、流行はほぼ全国に拡大していると考えられる。

大きな流行の存在を示唆する「警報」が、愛知県内の14保健所、福岡県、大分県内の各6保健所など、計60保健所で発生しており、今後4週間以内に流行現象が生ずる可能性が高い「注意報」は、愛知県内の17保健所、神奈川県内の15保健所、埼玉県、福岡県内の各14保健所など、計208保健所に発生している。「インフルエンザ警報・注意報マップ」は、感染症情報センターホームページ・トピックス「インフルエンザ」参照。インフルエンザウイルスの分離・検出については、5ページ病原体検出情報参照。」

厚生労働省が都道府県の学校担当部局などの協力を得て行っている学校における「インフルエンザ様疾患発生報告」によると、平成13年10月28日から平成14年2月2日までの累積欠席者数は17,908人で、流行が小さかった昨年同期のほぼ4倍となっている。





# 病原体情報

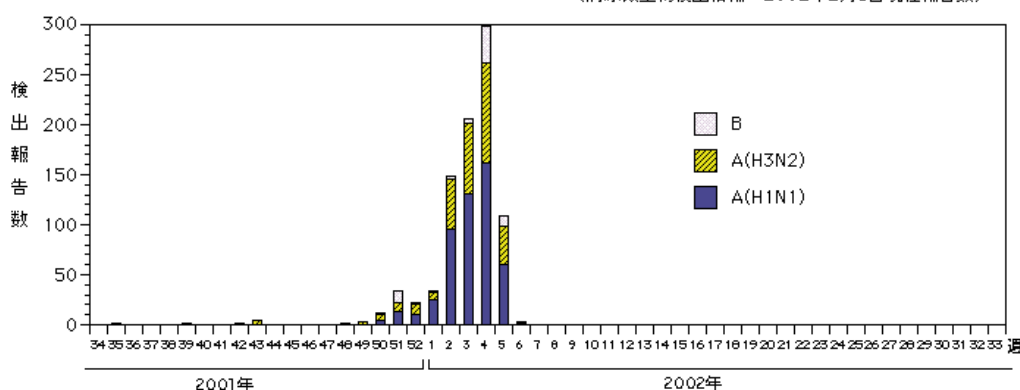
\*グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。  
(2002年2月8日現在報告分)

## インフルエンザ 2001/02シーズン

今シーズンの分離・検出報告は、A/ソ連(H1)型が504件(山口県63、北九州市29、静岡県27など)、A/香港型(H3)が300件(札幌市36、愛媛県32、茨城県29など)、B型は70件(愛知県21、名古屋市19など)である。最近では、A/ソ連(H1)型が第4週に162(28府県市)、第5週に60(13県市)、第6週に2(神戸市)、A/香港型(H3)が第4週に98(23府県市)、第5週に39(9県市)、第6週に1(神戸市)、B型が第4週に36(7県市)、第5週に10(4県市)が報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2001/2002シーズン

(病原微生物検出情報: 2002年2月8日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。  
(\*他に40週AH3, 49週Bが国立仙台病院で分離されている)

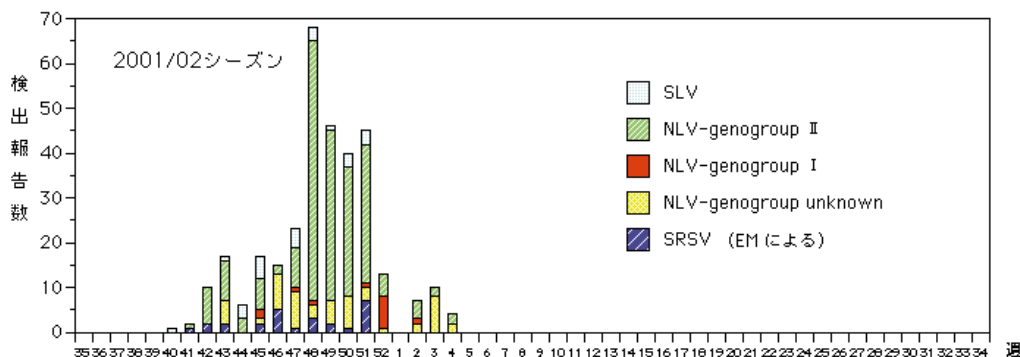


## 感染性胃腸炎 2001/02シーズン

今シーズンのSRSVの検出は、ノーワーク様ウイルス(NLV)genogroup IIが208件(岩手県38、大阪市29、愛媛県26、東京都18、浜松市14など)、NLV genogroup Iが13件(滋賀県8、石川県2、秋田県、埼玉県、東京都各1)、NLV genogroup unknownが53件(新潟県31、秋田県10、東京都8、鳥取県3、広島市1)、サッポロ様ウイルス(SLV)が24件(愛媛県13、岩手県10、広島県1)で、その他に、電顕による検出が26件(岡山県11、北九州市8、栃木県4、愛媛県3)報告された。また、A群ロタウイルス21件(新潟県12、東京都3、岩手県、埼玉県、千葉市、浜松市、大阪府、奈良県各1)、群不明ロタウイルス1件(熊本県)の検出が報告されている。

検出されたSRSVの内訳、2001/02シーズン

(病原微生物検出情報: 2002年2月8日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。





## 秋田市内で発生したA群溶血性レンサ球菌による家族内感染事例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症など、溶血性レンサ球菌による重症事例は年間数十事例報告されているが、家族内で重症溶連菌感染症に罹患した事例はほとんど見られない。今回我々は、A群溶血性レンサ球菌により、親子で壊死性筋膜炎と蜂窩織炎を発症した事例について報告する。

症例1: 男、16歳。診断名は壊死性筋膜炎。経過は、2000(平成12)年10月9日から右臀部痛があり、10月16日疼痛・発熱により入院。10月18日切開手術、11月21日軽快退院。

症例2: 女、43歳、症例1の母親。診断名は蜂窩織炎。2000(平成12)年10月12日頃から加療中の白癬菌症部分が化膿し、10月19日受診、入院した。抗菌薬投与により10月23日軽快退院。

検査材料・方法: 症例1は臀部膿、症例2は足の膿を検査材料とし、血液平板に塗布、溶血環を呈するコロニーについて性状試験を行い、ヤトロンのストレプトテックスにより群を決定した。

結果: 症例1、2の両者からA群溶血性レンサ球菌が分離された。分離株1株ずつについて血清型別したところ、症例1由来株はT13、症例2由来株はTB3264と異なっていた。両者が親子であることから、分離平板から4コロニーずつ再度釣菌し、血清型別を実施したところ、8株ともT13とTB3264の2種類の抗血清に凝集が見られた。症例1由来株T13(No.1)、T13/TB3264(No.2)、症例2由来株TB3264(No.3)、T13/TB3264(No.4)の計4株についてM型別、発赤毒素型検査を国立感染症研究所に依頼した。その結果、4株すべてにおいてMタンパク質をコードする*emm*遺伝子の塩基配列は*emm81*と100%一致し、M81型と考えられた。また、*spe*遺伝子として*speB*および*speF*遺伝子をすべての株が保有していた。このように、分離株4株はM型、*spe*遺伝子は一致したが、T型別結果が一部異なった。このことはおそらく、T型別時の消化の程度でT13とTB3264の凝集の強弱に差がでたもので、同一のタイプと考えられ、今後パルスフィールド・ゲル電気泳動で確認する予定である。

秋田県衛生科学研究所微生物部

齊藤志保子 八柳潤 伊藤 功

秋田組合総合病院整形外科 西澤暢浩

” 臨床検査科 伊藤優子

福島県衛生研究所微生物部 須釜久美子

国立感染症研究所細菌部 池辺忠義

(IASR2002年2月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)





## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### イタリアで初の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病患者

Eurosurveillance Weekly 2002年2月7日

イタリアで初の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病患者が報告された。シシリー島在住の患者は、臨床所見、扁桃生検などをとくにイタリアおよび英国で診断された。Istituto Superiore di Sanit (ISS)は、患者をほぼ確実例( probable )と分類した。患者は生存しているため、ISSはその後の情報は報告しなかった。クロイツフェルト・ヤコブ病の届出とサーベイランスは、2002年の初めからイタリアで義務付けられた。

1984年の7月28日に、反芻動物に哺乳類の蛋白が入っている餌を与えるのを禁止することが承認され、その年の9月15日から施行された。2001年のウシ海綿状脳症の発症率は、10,000につき1.03であった。

### 香港で家禽からインフルエンザウイルスA型( H5 )の分離

WHO/CSR 2002年2月8日

香港特別行政区の家禽小売市場、ニワトリ卸売り市場の1箇所の販売所および2箇所の養鶏場で、最近死亡した家禽の数が増加している。いくつかの検体の予備検査で、インフルエンザウイルスA型( H5 )が陽性であった。

その結果香港行政区は、流行が発生した小売市場、販売所、2つの養鶏場のニワトリ全個体を処分した。さらに23箇所の養鶏場が封鎖された。

この流行に関連したインフルエンザ様の患者は、ヒトでは見つかっていない。香港にあるWHOのヒトインフルエンザサーベイランスシステムは、状況を綿密に監視している。

### アメリカ大陸でのデング熱流行

Health Canada 2002年2月1日

2001年12月31日までに、アメリカ大陸の複数の国( バルバドス、ブラジル、コロンビア、コスタリカ、キューバ、エクアドル、フランス領ギアナ、ホンジュラス、ペルー、ベネズエラ )がデング熱患者の発生が高レベルであると報告した。

デング熱が発生している国への旅行者は、各自で防蚊対策を行うことを忘れてはならない。

### ガボン、コンゴ共和国のエボラ出血熱 - 更新

WHO/CSR 2002年2月7日

2002年2月5日ガボン保健省は、42名の死亡例を含む49名の確認患者( 検査による診断19名、疫学的診断30名 )を報告した。この確認患者の増加は、疑い患者の検査結果が判明したためである。

2002年2月1日現在、12名の死亡例を含む20名の確認患者が、ガボン国境近くのコンゴ共和国のいくつかの村で報告された。

### コンボの野兎病 - 更新

WHO/CSR 2002年2月6日

2002年2月5日現在、プリシュティナにある公衆衛生研究所( IPH )は、2001年11月1日から始まった野兎病の流行で患者715名を報告した。170名が検査で診断が確定されたが、感染が疑われた患者404名が検査で陰性と判明した。その他の患者141名は、検査中あるいは疫学調査中である。現在までに死亡例は発生していない。患者の治療、環境整備、保健教育が継続されている。



# 感染症の話

## 腸チフス・パラチフス

腸チフス・パラチフスは一般のサルモネラ感染症とは区別され、チフス性疾患と総称される。腸チフス・パラチフスは、チフス菌・パラチフスA菌の網内系マクロファージ内増殖に伴う菌血症と、腸管の局所の病変を特徴とする疾患である。

1999年4月から施行された感染症法では、腸チフス・パラチフスは2類感染症に指定され、患者、疑似症患者および無症状病原体保有者(保菌者)を診断した医師は、直ちに保健所長を通じて都道府県知事に届け出るように決められている。腸チフス・パラチフス患者、疑似症患者は第2種感染症指定医療機関への入院勧告、または入院措置の対象となる。しかし、無症状病原体保有者(保菌者)は入院勧告・入院措置の対象にはならず、外来通院治療を選択することができる。入院勧告・入院措置による入院は72時間までで、それ以後の入院については、保健所に設置された感染症の審査に関する協議会で入院の必要性を検討し、10日以内の期間を定めて、入院の期間を延長することができる。その後は、延長された入院の期間の経過後、協議会で入院の必要性が再検討される。

わが国の法律上の起因菌はそれぞれ腸チフスは *Salmonella Typhi*, パラチフスは *Salmonella Paratyphi A* である。パラチフスB菌( *Salmonella Paratyphi B* )は、*S. Java*との鑑別が困難な点から1985年以降パラチフスの原因菌から除外され、サルモネラ症として扱われるようになった。また、チフス菌、パラチフスA菌以外にもヒトにチフス症を起こすサルモネラ属菌( *S. Sendai*, *S. Paratyphi B*, *S. Paratyphi C* )もあるが、これらはサルモネラ症として扱われる。

### 疫学

腸チフス・パラチフスは現在でも、日本を除く東アジア、東南アジア、インド亜大陸、中東、東欧、中南米、アフリカなどに蔓延し、流行を繰り返している。わが国でも昭和初期から終戦直後までは腸チフスが年間約4万人、パラチフスが約5,000人の発生がみられていた。そして、1970年代までには環境衛生状態の改善によって、年間約300例の発生まで減少した。その後さらに減少し、1990年代に入ってから腸チフス・パラチフスを併せて年間約100例程度で推移している。そのほとんどは海外からの輸入事例で、海外旅行が日常化したことにより増加傾向にある(図1)。腸チフス・パラチフスの集団発生としては、1993年に首都圏で50名の腸チフス患者、1994年には近畿地方で34名のパラチフス患者、1998年には関東地方で約20名のパラチフス患者がみられてい

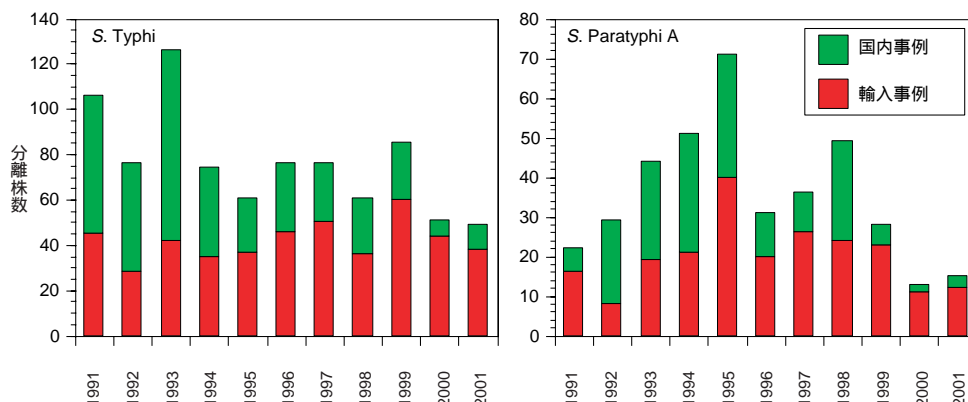


図1. 腸チフス、パラチフスの発生件数 (1991年～2001年)



る。

わが国では腸チフス、パラチフスの疫学調査のために、チフス菌・パラチフスA菌の分離菌株は地方衛生研究所を通じて国立感染症研究所に集められ、ファージ型別を行っている。ファージ型は感染経路の追求に非常に有効な方法であり、集団発生の時にはそれにより感染経路の追求が行われる。現在、チフス菌は106型、パラチフスA菌は6型のファージ型に分類されている。

**病原体**

チフス菌、パラチフスA菌はグラム陰性桿菌で周毛性鞭毛を持ち、運動性がある(図2)。両菌は宿主特異性があり、ヒトにのみ感染し病気を起こす。ヒトの糞便で汚染された食物や水が疾患を媒介する。感染源がヒトに限られているため、衛生水準の向上とともに減少している。

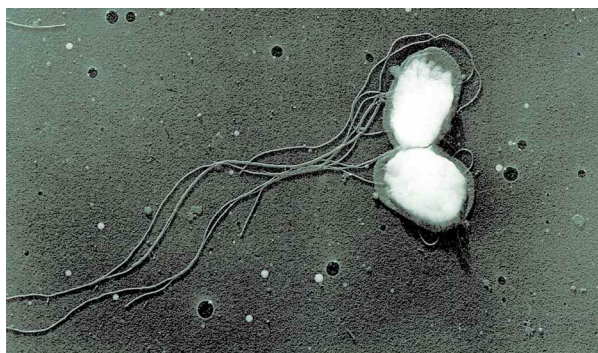


図2. *Salmonella Typhi* の電子顕微鏡写真  
パラジウムによるシャドウイング法、25,000倍。

**臨床症状**

腸チフスとパラチフスの臨床症状はほとんど同じであるが、パラチフスは腸チフスに比較して一般的に症状は軽い。通常10～14日の潜伏期の後に発熱で発症する。第1病期には段階的に体温が上昇し、39～40℃に達する。3主徴である比較的徐脈、バラ疹、脾腫が出現する。第2病期は極期であり、40℃代の稽留熱、下痢または便秘を呈する。重症な場合には意識障害も引き起こす。第3病期には徐々に解熱し、弛張熱、腸出血をきたす。腸出血に引き続いて、2～3%の患者に腸穿孔を起こす。第4病期には解熱し、回復に向かう(表1)。生化学的検査では、急性期には白血球は軽度に減少し、3,000/mm<sup>3</sup>近くまで低下する。GOT、GPTは軽度上昇する(200 IU/l程度)。LDHも中程度に上昇し、1,000 IU/l以上となることもある。

表1. 腸チフスの臨床経過と腸管の病理像の変化

病 週	臨床症状	腸管の病理像
第1病週	段階的の体温上昇(39 - 40℃) 比較的徐脈・バラ疹・肝脾腫	腸管リンパ組織内で菌の増殖、 腸粘膜リンパ節腫脹
第2病週	稽留熱(40℃) チフス性顔貌、意識障害	リンパ組織が壊死を起こし、 痂皮を形成
第3病週	弛張熱、腸出血、腸穿孔	痂皮がはがれ落ち潰瘍形成し、 出血を起こす
第4病週	解熱、回復	組織破壊が修復される

**病原診断**

臨床診断は臨床症状の他に、過去1カ月以内の発展途上国などへの海外渡航歴も参考にす。確定診断は、細菌学的検査によるチフス菌・パラチフスA菌の検出である。細菌の検出には、血液培養に加えて糞便、胆汁の培養を行う。有熱期に血液培養を行えば、検出率は高い。保菌者、無症状者では糞便培養、胆汁培養を行う。

**治療・予防**

腸チフス、パラチフスには抗菌薬の投与による治療が行われる。現在ではニューキノロン系抗菌薬が第一選択薬として使われている。チフス菌・パラチフスA菌の海外からの輸入事例では薬剤耐性菌が分離されている(表2)。とくに、インド亜大陸の渡航者から薬剤耐性菌が多く分離される。多剤耐性チフス菌・パラチフスA菌は、アンピシリン、クロラムフェニコール、テトラサイクリン(TC)、ストレプトマイシン(SM)、ST合剤(S×T)の5剤に耐性を持つものが多い。現在でも、多剤耐性チフス菌はインド亜大陸、中央アジア、東南アジアで流行し、集団発生が生じることもある。現在までの疫学調査から、多剤耐性チフス菌のファージ型はE1が多いことが解っている。多剤耐性チフス菌・パラチフスA菌の他に、現在はニューキノロン低感受性チフス菌・パラチフスA菌が問題となっている。これらはニューキノロン系薬に耐性ではないが、ニューキノロン系薬に対するMICが感性株の約10倍またはそれ以上高い(表2)。また、ナリジクス酸に耐性で、第3世代セフェム系抗菌薬には感性である。ニューキノロン低感受性菌による腸チフス・パラチフスでは、ニューキノロン系薬による治療が困難である。現在までにニューキノロン系薬による治療が奏功しなかった症例も多く報告されている。ニューキノロン系薬の効果が望めない症例では第3世代セフェム系抗菌薬が使用される。現在のところ、第3世代セフェム系抗菌薬に耐性をもつチフス菌・パラチフスA菌は報告されていない。このようなニューキノロン低感受性株は1998年より急激に増加している。2000年では、日本で分離されるチフス菌の約50%、パラチフスA菌の約30%が、2001年では、チフス菌の約30%、パラチフスA菌の約50%がニューキノロン低感受性であった(図3)。

今後、腸チフスの治療には直ちにニューキノロン系の薬剤を投与するのではなく、分離菌株の薬剤感受性試験を行ってから治療を始める姿勢が必要となってきている。

表2. ニューキノロン低感受性菌の各種抗菌薬に対するMIC

Serovar	ファージ型	渡航先	CP	AP	SM	TMP/ SMZ	NA	CPFX	NFLX	OFLX	CTRX	CTX	AZM	IPM
Typhi	E1	India	>256	>256	>256	256	>256	0.5	2	1	0.032	0.064	4	0.5
Typhi	E1	India	>256	>256	>256	>256	>256	0.5	2	1	0.064	0.064	4	0.5
Typhi	E1	India	>256	>256	>256	>256	>256	0.5	2	1	0.064	0.064	1	0.5
Typhi	E1	India	>256	>256	>256	>256	>256	0.5	2	0.5	0.032	0.064	2	0.25
Typhi	E3	India	4	0.5	16	2	>256	0.25	1	0.5	0.032	0.064	2	0.5
Typhi	M4	Myanmar	4	0.25	16	1	>256	0.25	0.5	0.5	0.064	0.064	2	0.5
ParaA	1	India	8	2	32	2	>256	1	4	4	0.064	0.064	4	0.5
ParaA	1	India	8	2	32	2	>256	2	4	4	0.064	0.125	4	1
Typhi*	M1	domestic	4	0.5	32	2	4	0.016	0.064	0.064	0.032	0.064	1	0.25

CP: chloramphenicol, AP: ampicillin, SM: streptomycin, SMZ/TMP: trimethoprim-sulfamethoxazole, NA: nalidixic acid  
 CPFX: ciprofloxacin, NFLX: norfloxacin, OFLX: ofloxacin, CTRX: ceftriaxone, CTX: cefotaxime, AZM: azithromycin,  
 IPM: imipenem.

\*: ニューキノロン感受性株

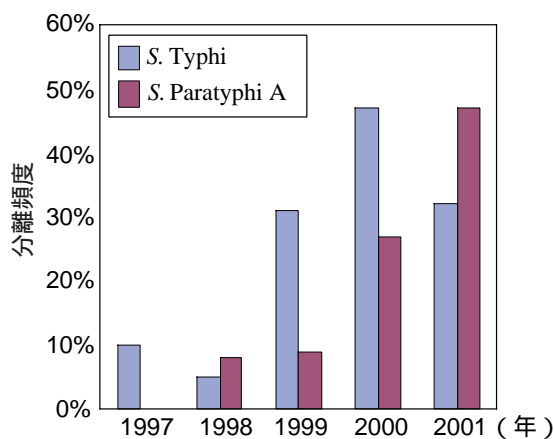


図3. ニューキノン低感受性菌の分離頻度

### 感染症法における取り扱い

腸チフス、パラチフスは2類感染症であり、診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届け出る。報告のための基準は以下の通りである。

#### <腸チフス>

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の方法によって病原体診断がなされたもの。

(材料)末梢血、骨髓液、便、尿、胆汁等

・病原体の検出

チフス菌の分離・培養

疑似症の診断

臨床所見、腸チフス流行地への渡航歴、集団発生の状況などにより判断する。

(鑑別診断)マラリア、デング熱、A型肝炎、つつが虫病など

#### <パラチフス>

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の方法によって病原体診断がなされたもの。

(材料)末梢血、骨髓液、便、尿、胆汁等

・病原体の検出

*Salmonella* serovar Paratyphi Aの分離・培養

(*Salmonella* Paratyphi B、Cはサルモネラ症として取り扱う)

疑似症の診断

臨床所見、パラチフス流行地への渡航歴、集団発生の状況などにより判断する。

(鑑別診断)マラリア、デング熱、A型肝炎、つつが虫病など

### 学校保健法での取り扱い

本疾患は学校保健法上第一種の伝染病に分類されているが、感染症法にて2類感染症に指定されていることより、原則として患者は指定医療機関に入院するので、治癒するまで出席停止となっている。

(国立感染症研究所細菌部 広瀬健二 渡辺治雄)



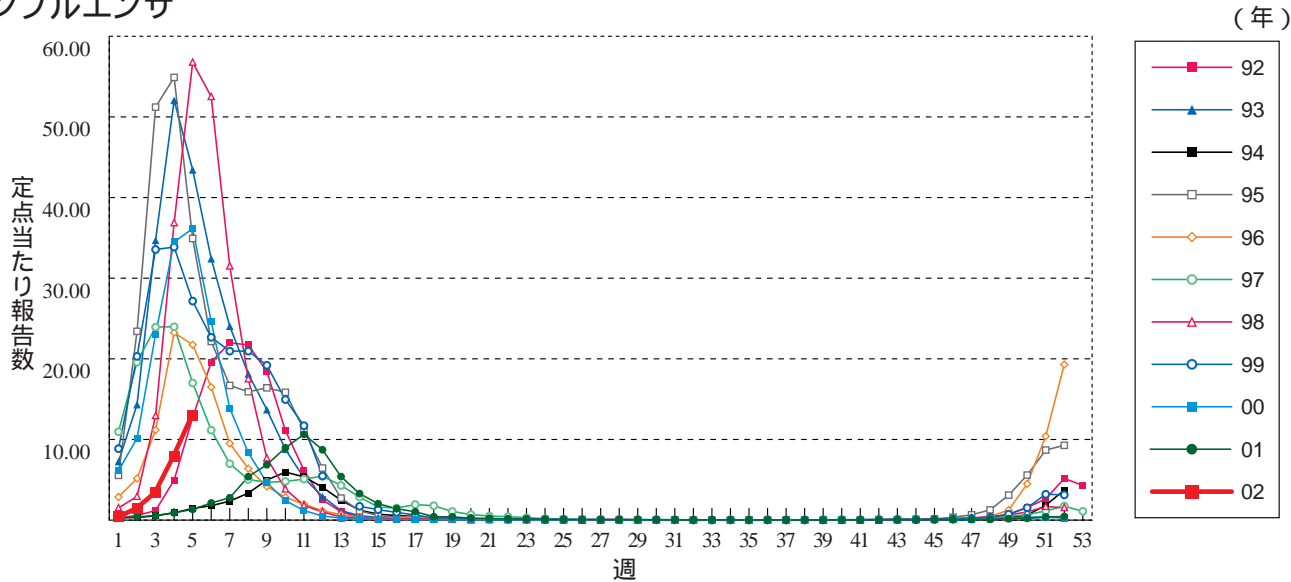
## 読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

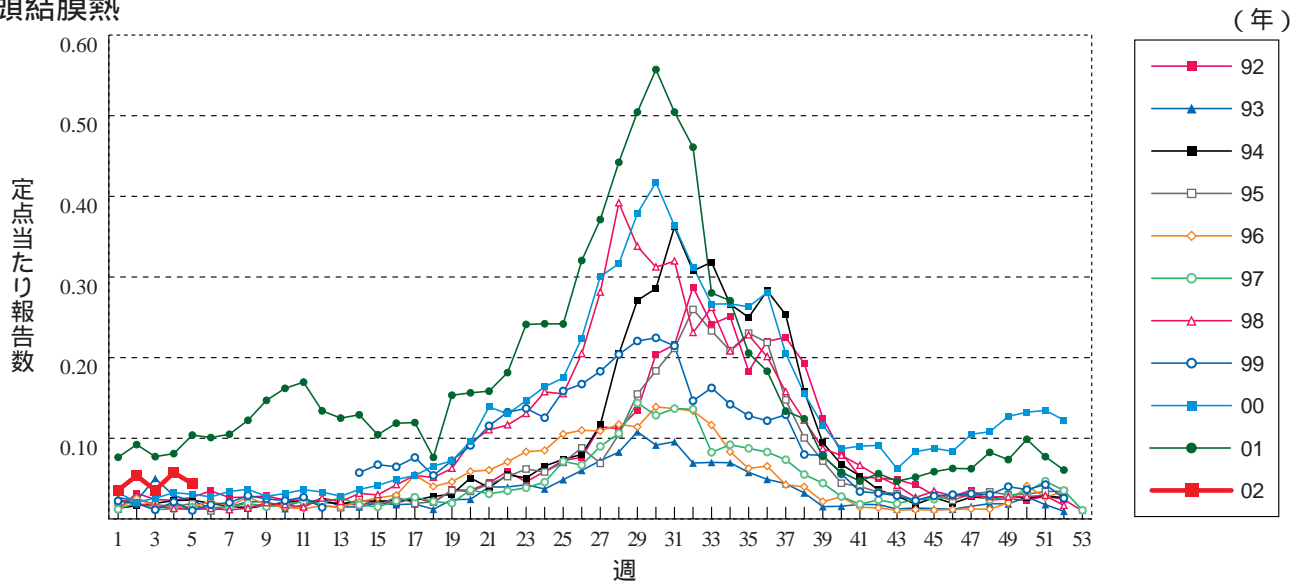
[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

**グラフ総覧( 5週 )**

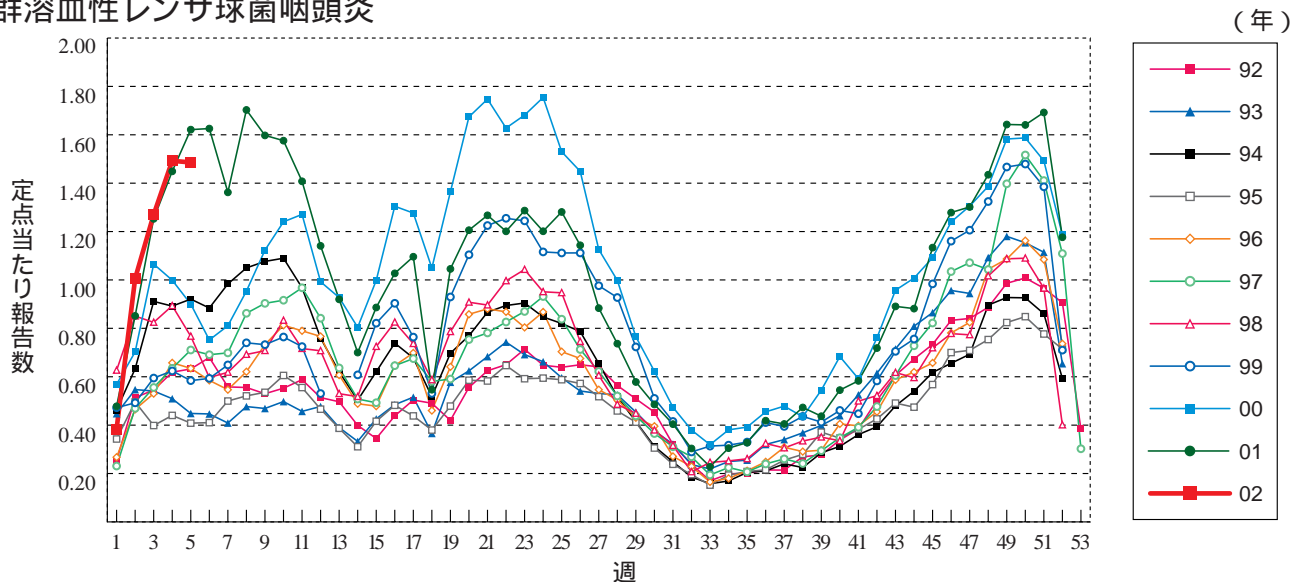
**インフルエンザ**



**咽頭結膜熱**

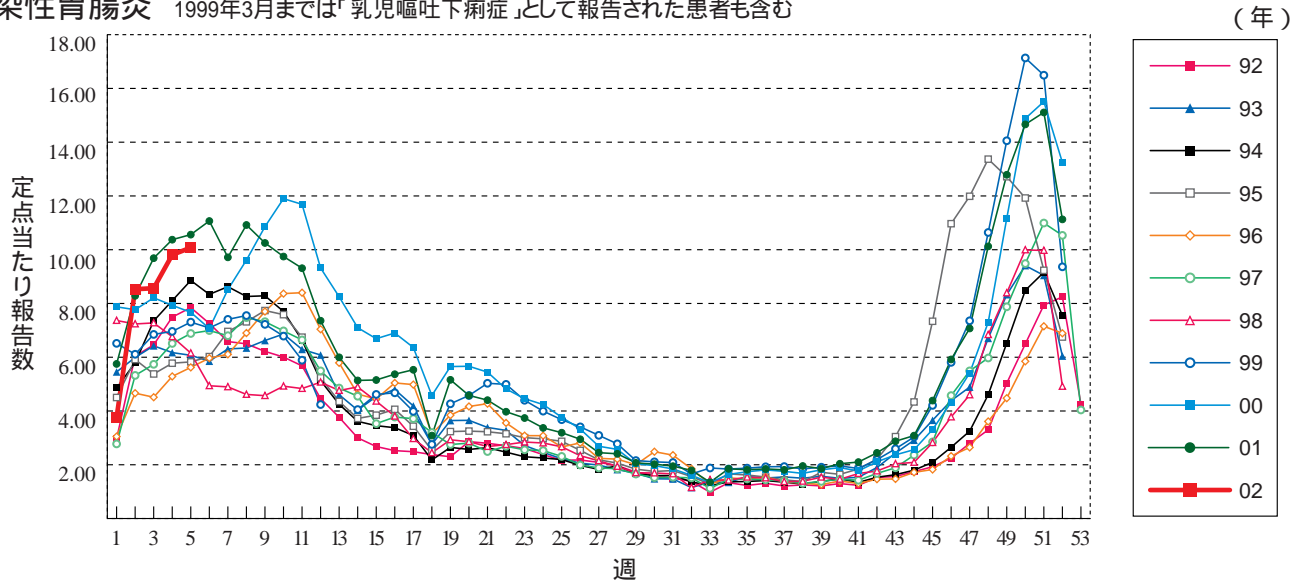


**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

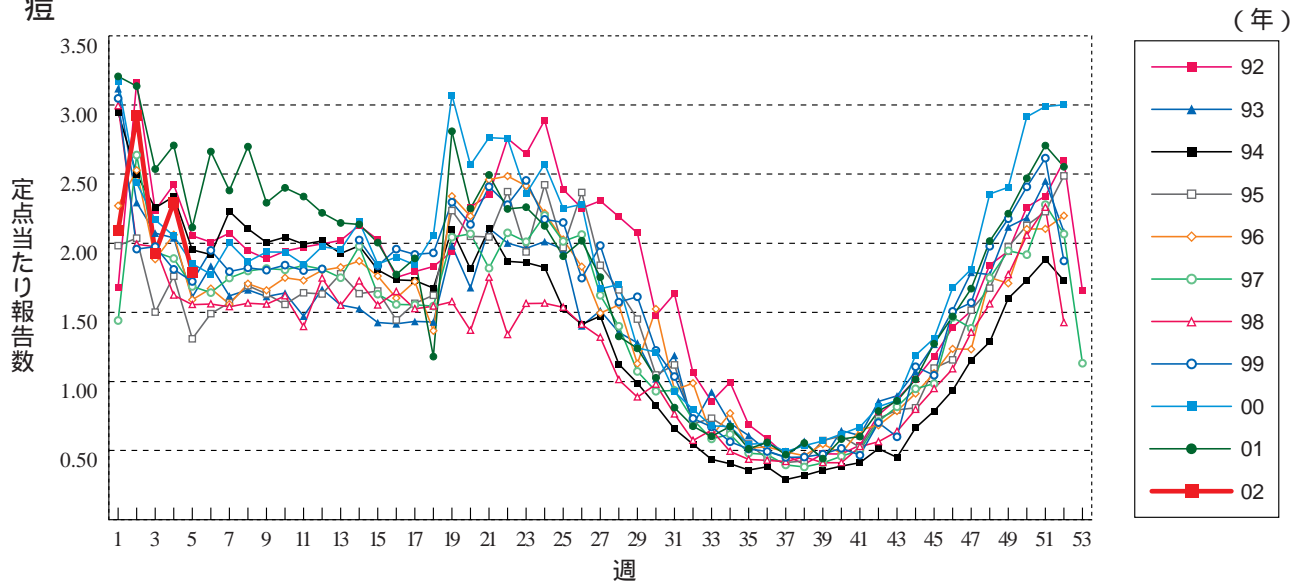




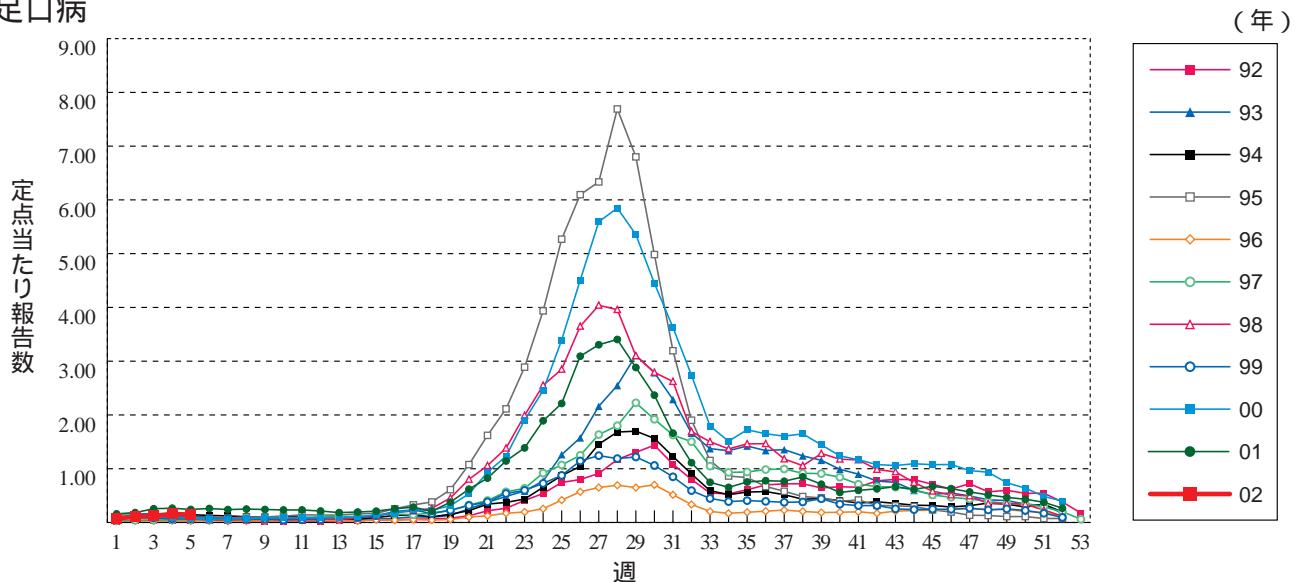
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



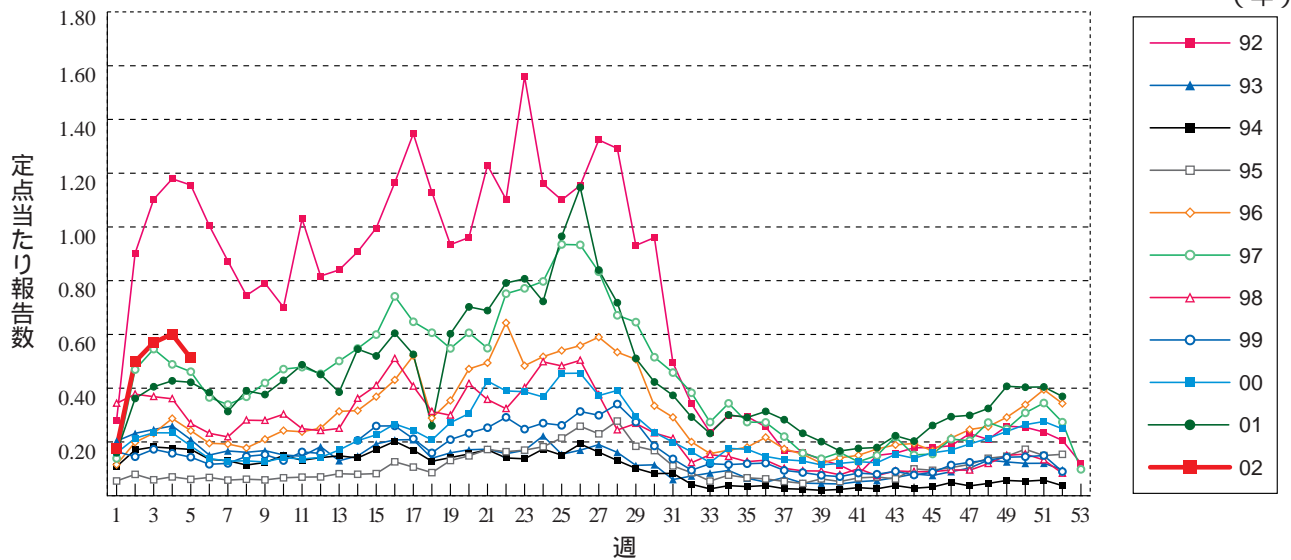
**水痘**



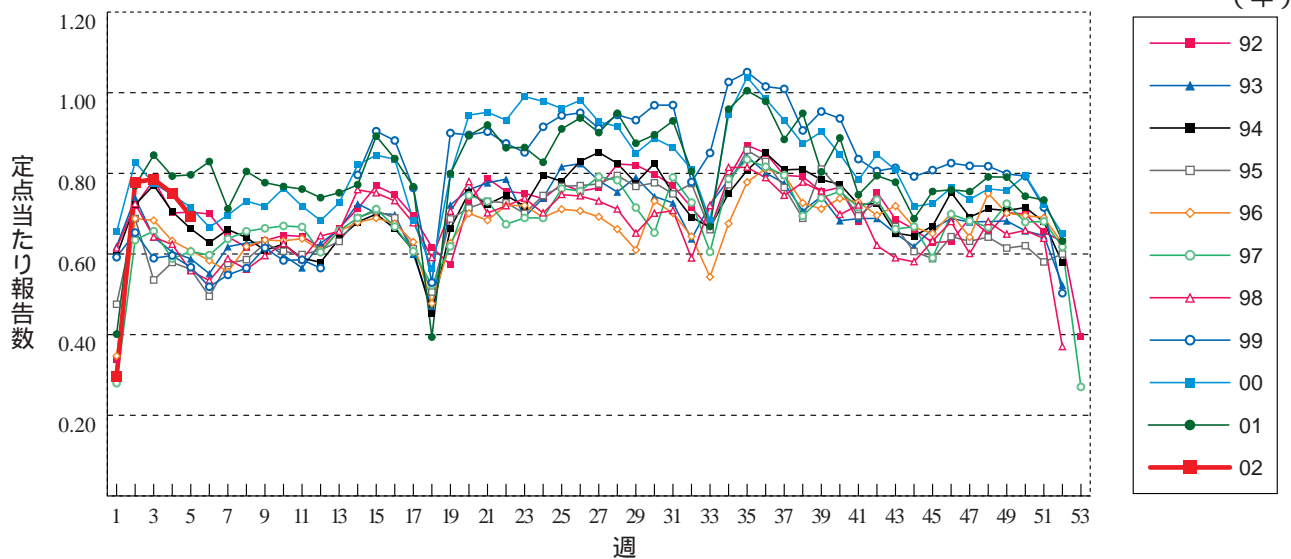
**手足口病**



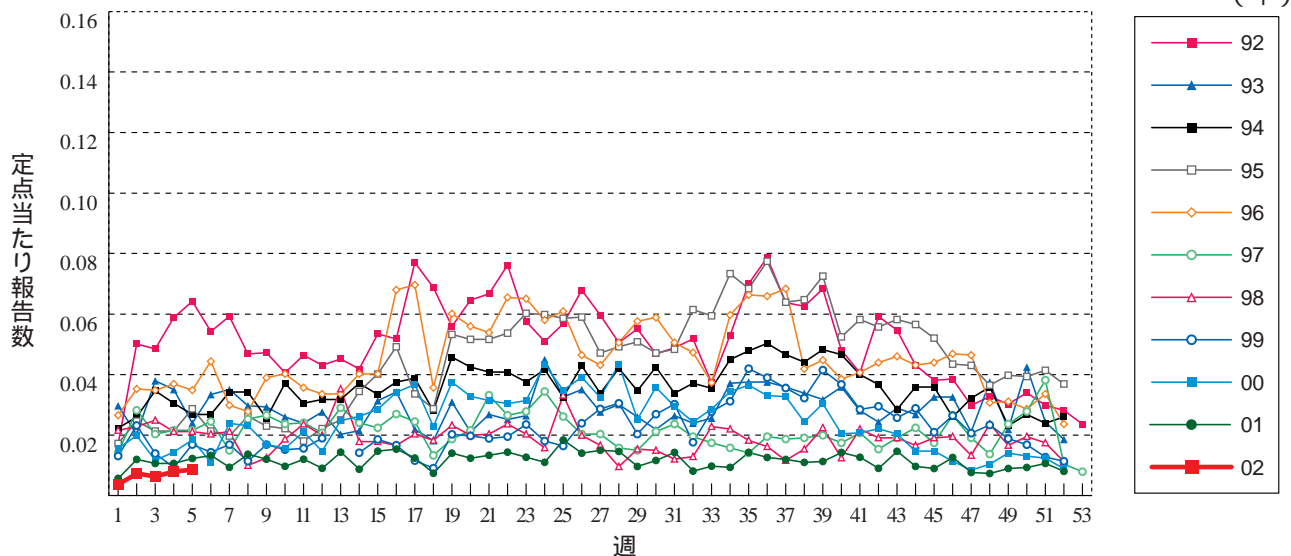
伝染性紅斑



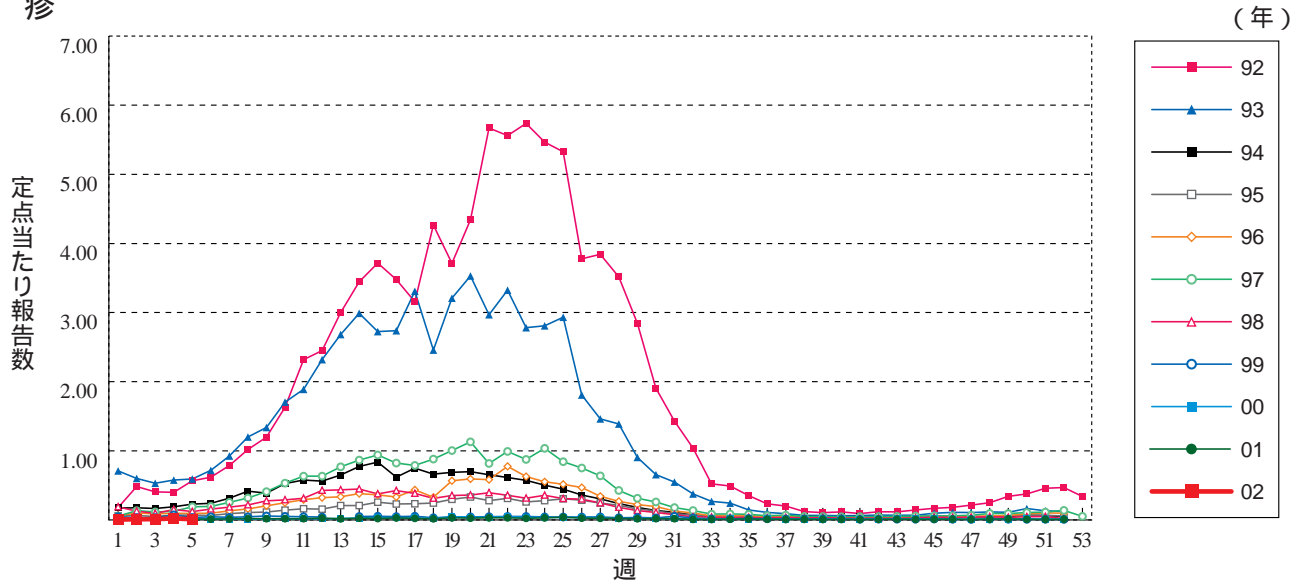
突発性発疹



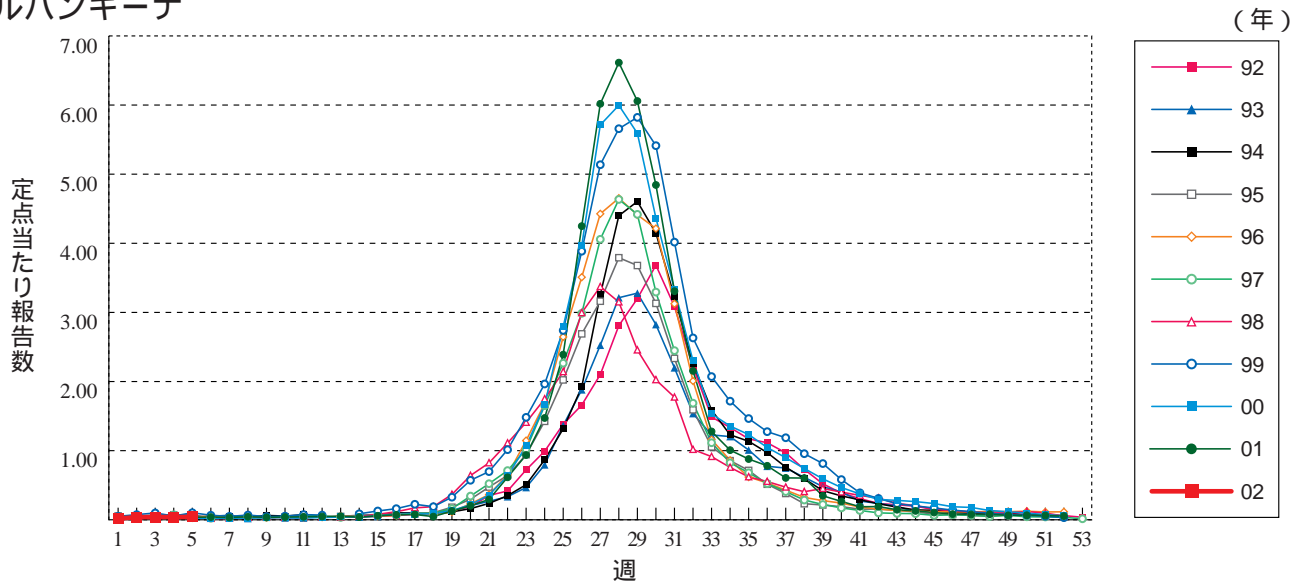
百日咳



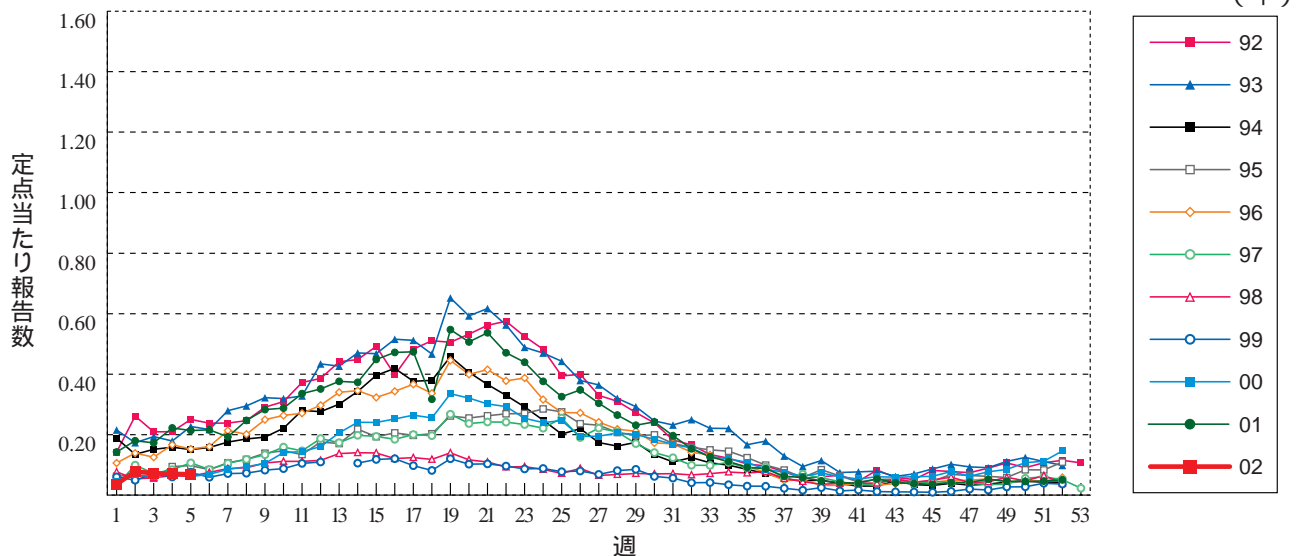
風 疹



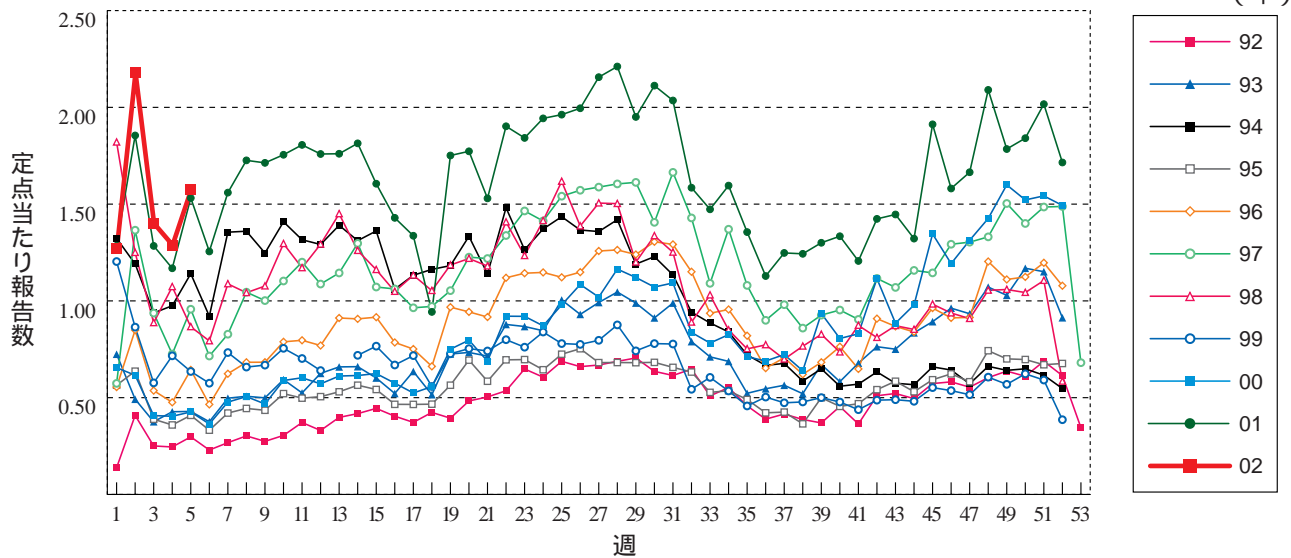
ヘルパンギーナ



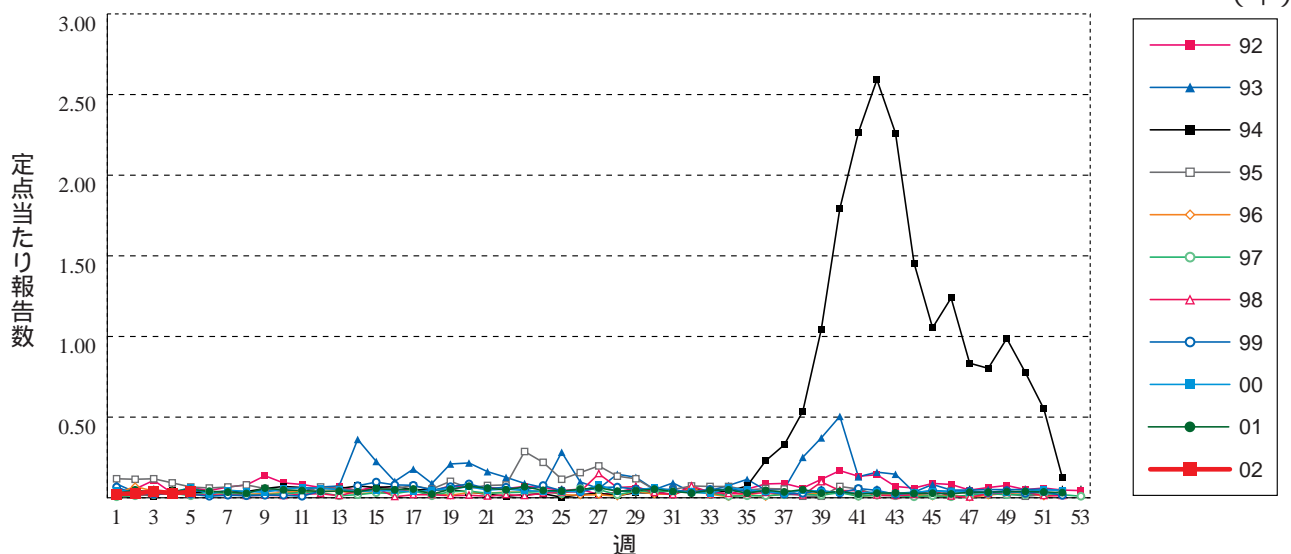
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



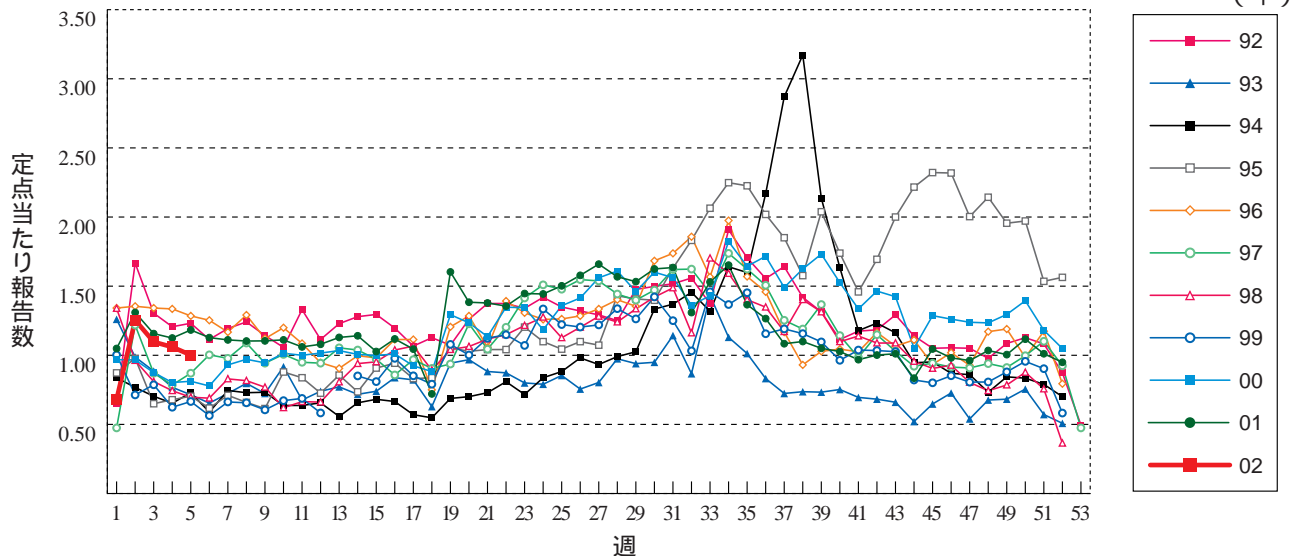
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

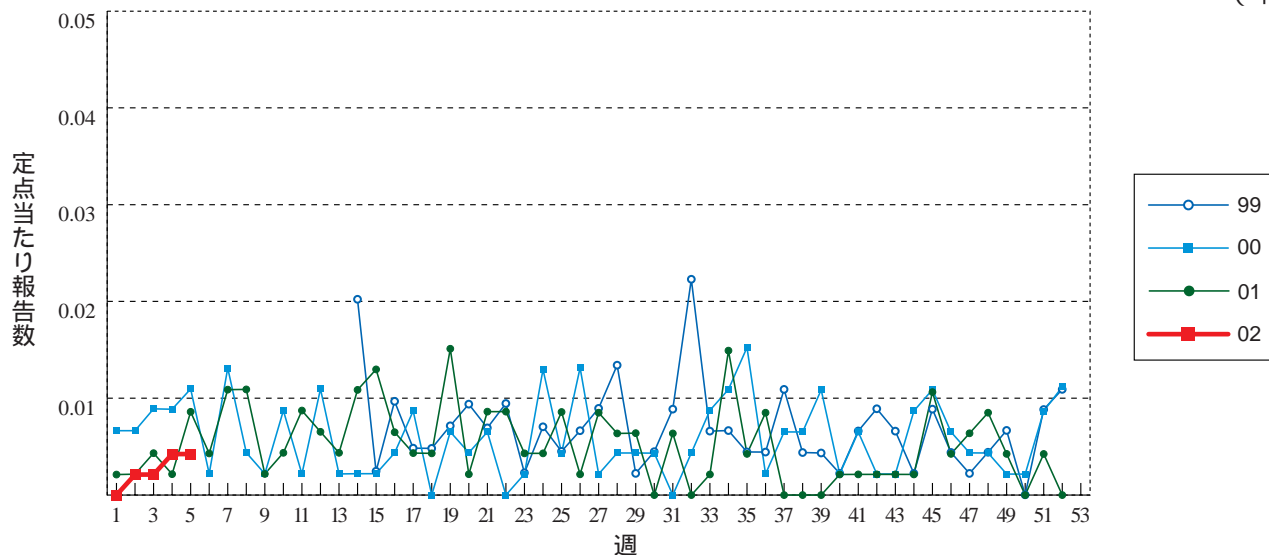


流行性角結膜炎



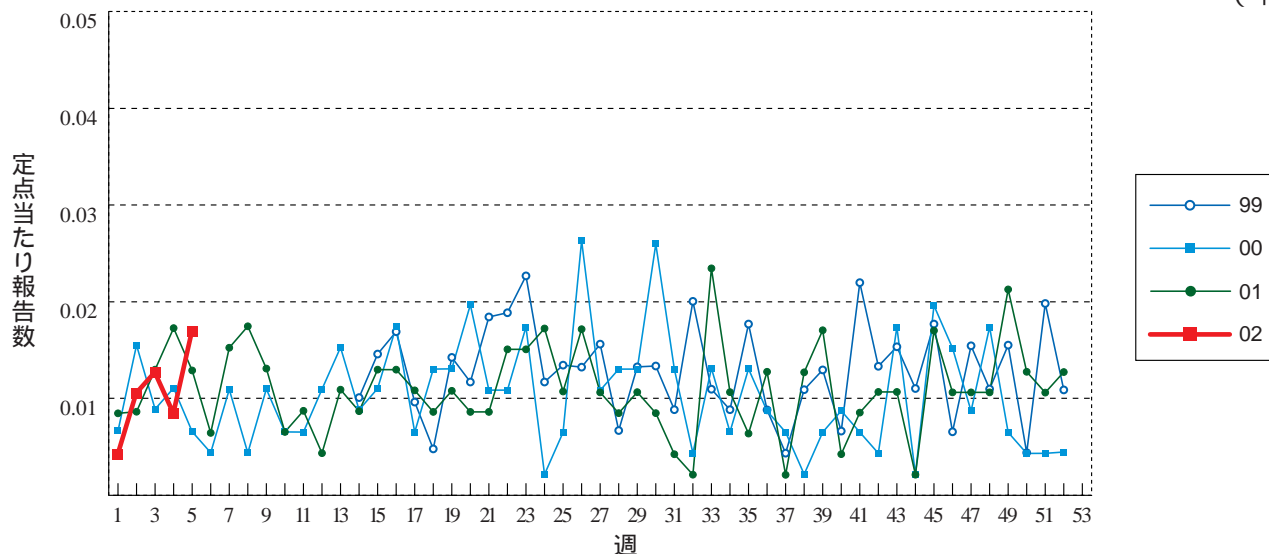
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



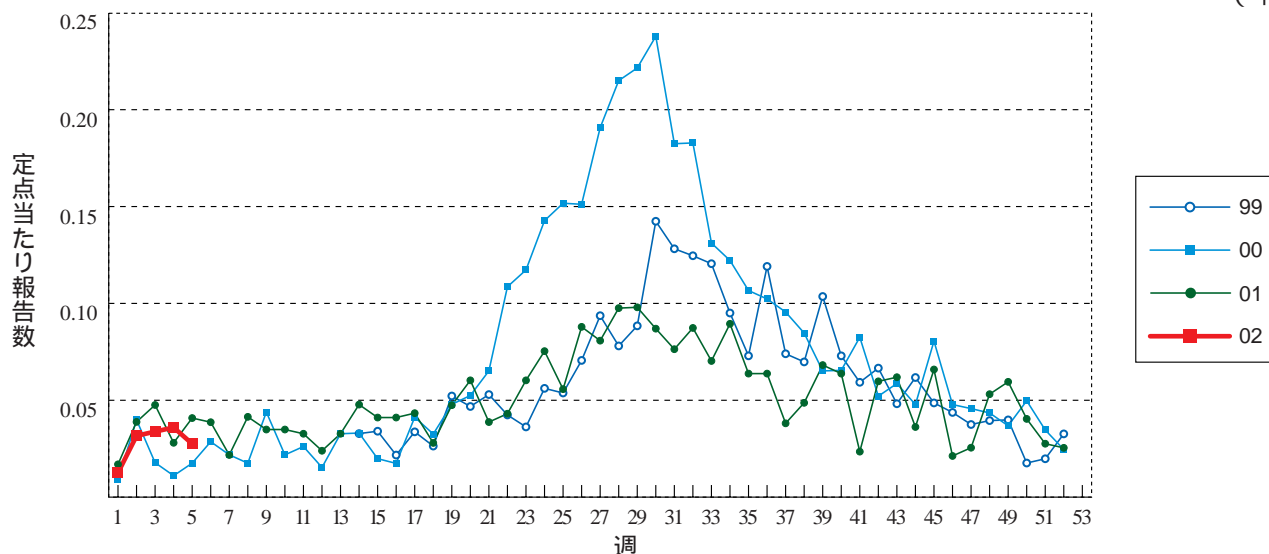
細菌性髄膜炎

(年)



無菌性髄膜炎

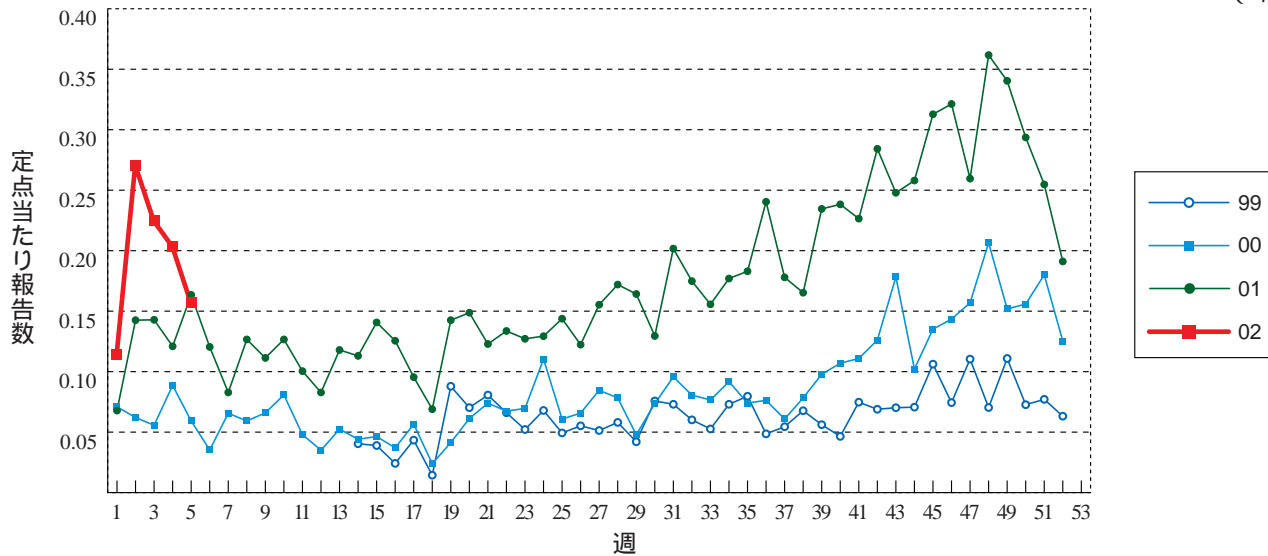
(年)





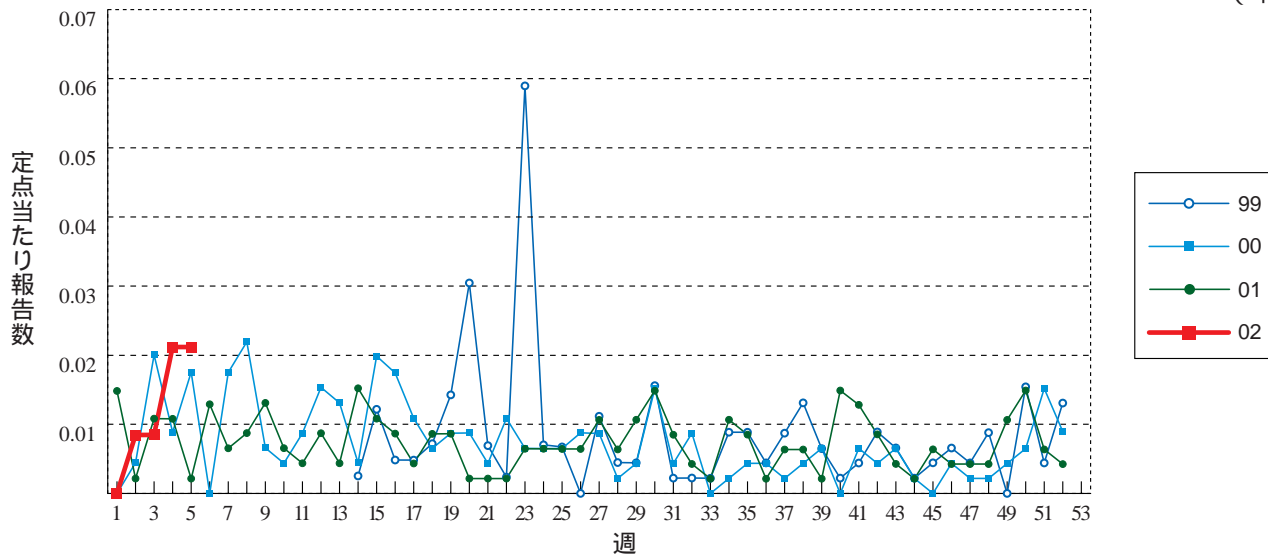
マイコプラズマ肺炎

(年)



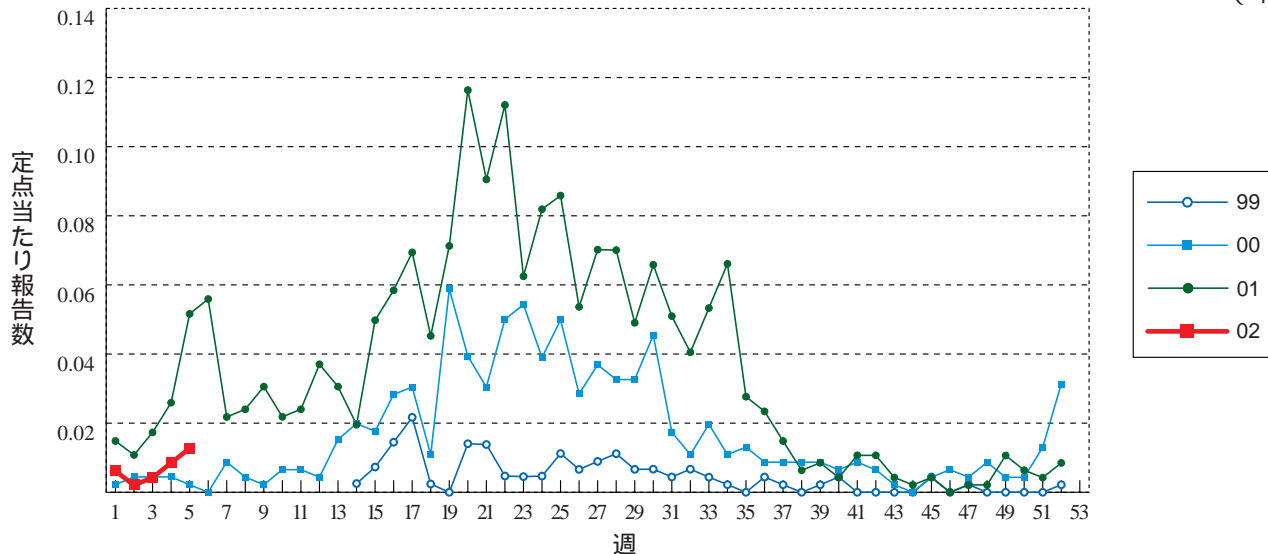
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





### 5週のデータ

注)表中の報告数は2月8日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年5週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	25	137	-	2	2	4	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	49	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	6	-	1	2	2	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	24	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年5週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	8	44	5	25	-	1	-	-	2	11	-	-	10	67
北海道	-	-	-	-	1	2	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
東京都	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	12
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
岐阜県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
愛知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	4	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	1	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年5週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	1	1	12	2	14	4	44	-	1	1	6	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	1	1	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	19	-	-	-	3	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年5週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	27	-	3	-	-	-	-	-	-	7	43
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	1	8
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年5週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	4	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	12
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年5週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	61002	12.99	134	0.04	4521	1.49	30663	10.08	5447	1.79	439	0.14	1560	0.51	2111	0.69	26	0.01
北海道	949	4.13	12	0.08	381	2.63	392	2.70	213	1.47	13	0.09	69	0.48	87	0.60	3	0.02
青森県	326	5.17	-	-	50	1.22	169	4.12	52	1.27	12	0.29	48	1.17	17	0.41	-	-
岩手県	226	3.70	1	0.03	50	1.35	191	5.16	37	1.00	3	0.08	8	0.22	16	0.43	-	-
宮城県	561	5.78	-	-	100	1.69	996	16.88	100	1.69	7	0.12	38	0.64	59	1.00	-	-
秋田県	165	3.00	-	-	73	2.09	433	12.37	69	1.97	-	-	117	3.34	14	0.40	-	-
山形県	251	5.23	-	-	157	5.23	573	19.10	62	2.07	10	0.33	29	0.97	32	1.07	1	0.03
福島県	556	7.32	-	-	98	1.96	455	9.10	136	2.72	18	0.36	61	1.22	33	0.66	-	-
茨城県	944	8.00	1	0.01	102	1.36	561	7.48	54	0.72	6	0.08	26	0.35	31	0.41	2	0.03
栃木県	1801	25.73	-	-	75	1.63	455	9.89	69	1.50	2	0.04	35	0.76	22	0.48	-	-
群馬県	3029	30.29	2	0.03	56	0.90	437	7.05	113	1.82	1	0.02	13	0.21	47	0.76	-	-
埼玉県	5370	21.31	10	0.06	302	1.92	2308	14.70	243	1.55	14	0.09	40	0.25	128	0.82	1	0.01
千葉県	2136	10.68	6	0.05	277	2.11	1650	12.60	298	2.27	6	0.05	72	0.55	77	0.59	1	0.01
東京都	1158	6.51	7	0.05	103	0.73	1432	10.08	141	0.99	13	0.09	49	0.35	62	0.44	-	-
神奈川県	3744	11.41	12	0.06	304	1.48	2354	11.43	316	1.53	35	0.17	82	0.40	202	0.98	5	0.02
新潟県	342	3.45	13	0.22	206	3.43	780	13.00	166	2.77	33	0.55	45	0.75	48	0.80	-	-
富山県	252	5.25	2	0.07	67	2.31	504	17.38	56	1.93	17	0.59	52	1.79	19	0.66	-	-
石川県	656	13.67	1	0.03	48	1.66	392	13.52	59	2.03	16	0.55	54	1.86	16	0.55	-	-
福井県	159	4.97	2	0.09	33	1.50	440	20.00	82	3.73	1	0.05	8	0.36	13	0.59	-	-
山梨県	111	2.71	-	-	36	1.44	162	6.48	21	0.84	-	-	7	0.28	9	0.36	-	-
長野県	351	4.08	1	0.02	163	3.02	624	11.56	121	2.24	8	0.15	36	0.67	49	0.91	-	-
岐阜県	866	12.37	1	0.02	76	1.62	292	6.21	70	1.49	7	0.15	42	0.89	31	0.66	5	0.11
静岡県	2021	14.75	4	0.05	126	1.47	1061	12.34	195	2.27	10	0.12	37	0.43	52	0.60	-	-
愛知県	5256	27.38	3	0.02	195	1.07	1233	6.77	253	1.39	20	0.11	42	0.23	118	0.65	1	0.01
三重県	1064	14.58	2	0.04	51	1.13	645	14.33	81	1.80	5	0.11	61	1.36	46	1.02	-	-
滋賀県	320	6.15	-	-	14	0.45	150	4.84	62	2.00	8	0.26	15	0.48	14	0.45	-	-
京都府	745	5.91	3	0.04	105	1.38	937	12.33	75	0.99	16	0.21	54	0.71	37	0.49	2	0.03
大阪府	2320	7.63	12	0.06	133	0.68	1191	6.11	289	1.48	22	0.11	40	0.21	124	0.64	1	0.01
兵庫県	1697	8.57	3	0.02	137	1.07	1379	10.77	321	2.51	6	0.05	58	0.45	121	0.95	1	0.01
奈良県	519	9.44	-	-	37	1.06	299	8.54	39	1.11	5	0.14	13	0.37	13	0.37	-	-
和歌山県	586	11.72	-	-	18	0.58	294	9.48	53	1.71	1	0.03	6	0.19	22	0.71	-	-
鳥取県	567	19.55	1	0.05	35	1.84	321	16.89	46	2.42	6	0.32	17	0.89	23	1.21	-	-
島根県	159	4.18	3	0.13	30	1.30	184	8.00	34	1.48	14	0.61	10	0.43	11	0.48	-	-
岡山県	704	8.38	-	-	27	0.50	495	9.17	81	1.50	29	0.54	12	0.22	20	0.37	-	-
広島県	1528	12.84	4	0.05	62	0.83	1069	14.25	142	1.89	26	0.35	15	0.20	39	0.52	1	0.01
山口県	1709	24.41	8	0.16	68	1.39	436	8.90	112	2.29	1	0.02	41	0.84	41	0.84	-	-
徳島県	407	10.71	-	-	12	0.52	169	7.35	37	1.61	-	-	4	0.17	13	0.57	1	0.04
香川県	293	5.75	-	-	22	0.69	458	14.31	86	2.69	8	0.25	19	0.59	25	0.78	-	-
愛媛県	1223	19.11	1	0.03	48	1.23	348	8.92	72	1.85	7	0.18	34	0.87	45	1.15	-	-
高知県	827	16.88	-	-	50	1.61	261	8.42	48	1.55	12	0.39	11	0.35	15	0.48	-	-
福岡県	4518	22.82	4	0.03	278	2.32	1346	11.22	313	2.61	8	0.07	36	0.30	119	0.99	-	-
佐賀県	690	17.69	-	-	34	1.48	213	9.26	61	2.65	-	-	3	0.13	23	1.00	-	-
長崎県	1430	18.82	-	-	32	0.67	418	8.71	68	1.42	2	0.04	33	0.69	22	0.46	-	-
熊本県	2464	30.42	4	0.08	85	1.73	445	9.08	83	1.69	2	0.04	20	0.41	43	0.88	-	-
大分県	2015	34.74	1	0.03	30	0.83	509	14.14	69	1.92	-	-	15	0.42	37	1.03	-	-
宮崎県	1453	24.22	3	0.08	59	1.59	541	14.62	113	3.05	4	0.11	17	0.46	37	1.00	-	-
鹿児島県	2159	22.03	7	0.12	50	0.83	629	10.48	156	2.60	2	0.03	16	0.27	31	0.52	1	0.02
沖縄県	375	6.47	-	-	26	0.76	32	0.94	80	2.35	3	0.09	-	-	8	0.24	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年5週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	33	0.01	123	0.04	210	0.07	4788	1.57	23	0.04	639	1.00	2	0.00	8	0.02	13	0.03
北海道	1	0.01	2	0.01	32	0.22	103	0.71	-	-	38	1.31	-	-	-	-	-	-
青森県	5	0.12	3	0.07	6	0.15	74	1.80	-	-	24	2.18	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	3	0.08	59	1.59	-	-	9	0.75	-	-	-	-	-	-
宮城県	2	0.03	3	0.05	-	-	127	2.15	1	0.09	5	0.45	-	-	2	0.17	1	0.08
秋田県	-	-	-	-	-	-	61	1.74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	1	0.03	-	-	182	6.07	-	-	11	1.38	-	-	-	-	1	0.10
福島県	-	-	1	0.02	1	0.02	89	1.78	-	-	15	1.25	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	1	0.01	5	0.07	95	1.27	1	0.06	59	3.69	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	2	0.04	2	0.04	86	1.87	-	-	13	1.08	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	3	0.05	2	0.03	45	0.73	-	-	40	2.86	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.01	5	0.03	35	0.22	95	0.61	-	-	28	0.82	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	-	-	3	0.02	28	0.21	170	1.30	1	0.03	41	1.17	-	-	1	0.08	-	-
東京都	-	-	6	0.04	5	0.04	103	0.73	-	-	17	1.21	-	-	1	0.04	-	-
神奈川県	1	0.00	1	0.00	6	0.03	200	0.97	2	0.05	33	0.79	-	-	1	0.09	-	-
新潟県	-	-	3	0.05	-	-	166	2.77	-	-	7	0.78	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	3	0.10	4	0.14	113	3.90	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	0.03	-	-	160	5.52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	15	0.68	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	0.04	55	2.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	2	0.04	-	-	-	-	310	5.74	1	0.10	15	1.50	-	-	-	-	2	0.18
岐阜県	-	-	4	0.09	5	0.11	94	2.00	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	2	0.02	19	0.22	156	1.81	-	-	10	0.50	1	0.13	-	-	2	0.25
愛知県	-	-	9	0.05	17	0.09	210	1.15	-	-	31	0.89	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	3	0.07	2	0.04	55	1.22	-	-	6	0.50	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	3	0.10	25	0.81	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	2	0.03	59	0.78	-	-	5	0.28	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	8	0.04	4	0.02	185	0.95	-	-	35	0.67	-	-	-	-	2	0.13
兵庫県	1	0.01	-	-	2	0.02	175	1.37	-	-	16	0.44	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	-	-	92	2.63	-	-	4	0.44	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	1	0.03	59	1.90	-	-	6	1.50	-	-	1	0.09	-	-
鳥取県	-	-	-	-	7	0.37	8	0.42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	16	0.70	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	2	0.04	-	-	-	-	100	1.85	-	-	17	1.42	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	3	0.04	-	-	101	1.35	4	0.20	20	1.00	-	-	-	-	2	0.10
山口県	1	0.02	2	0.04	2	0.04	35	0.71	-	-	24	2.67	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	1	0.04	-	-	82	3.57	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	46	1.44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	6	0.15	-	-	117	3.00	1	0.14	7	1.00	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	2	0.06	-	-	17	0.55	-	-	3	1.00	-	-	1	0.13	-	-
福岡県	10	0.08	19	0.16	8	0.07	190	1.58	-	-	33	1.27	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	2	0.09	-	-	49	2.13	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	0.02	-	-	5	0.10	45	0.94	10	1.00	12	1.20	1	0.07	-	-	1	0.07
熊本県	-	-	7	0.14	1	0.02	37	0.76	1	0.11	10	1.11	-	-	-	-	1	0.07
大分県	-	-	13	0.36	-	-	62	1.72	-	-	6	1.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	1	0.03	1	0.03	97	2.62	-	-	17	4.25	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	1	0.02	-	-	150	2.50	-	-	6	1.00	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	1	0.03	-	-	1	0.03	218	6.41	1	0.10	2	0.20	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成14年5週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	74	0.16	10	0.02	6	0.01
北海道	-	-	1	0.04	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	4	0.20	-	-	-	-
宮城県	7	0.58	2	0.17	-	-
秋田県	4	0.50	-	-	-	-
山形県	2	0.20	-	-	-	-
福島県	2	0.29	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.14	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.11	-	-	1	0.11
千葉県	1	0.08	-	-	2	0.15
東京都	1	0.04	-	-	1	0.04
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	6	0.43	-	-	-	-
富山県	2	0.40	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	3	0.30	2	0.20	-	-
長野県	1	0.09	1	0.09	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.13	-	-	-	-
愛知県	3	0.23	-	-	-	-
三重県	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	3	0.43	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	3	0.23	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	1	0.20	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	2	0.40	1	0.20
広島県	5	0.24	-	-	-	-
山口県	1	0.13	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.20	-	-
愛媛県	3	0.50	-	-	-	-
高知県	5	0.63	-	-	-	-
福岡県	1	0.07	1	0.07	-	-
佐賀県	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	5	0.36	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	1	0.10	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.17	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	-	-

感染症週報 第4巻、第5号 平成14年2月18日発行  
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課  
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
TEL：03-5285-1111  
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

http://www.mhlw.go.jp/

<厚生労働省>

http://www.forth.go.jp/

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。